

にんぎょう じ けん

人形事件 須美ちゃんは名探偵!?

浅見光彦シリーズ番外

内田康夫財団事務局・著

文庫判: 328ページ

出版社: 光文社

発売日: 2026年4月14日



〈『人形事件 須美ちゃんは名探偵!?' とは〉

浅見家のお手伝い・須美ちゃんとしてお馴染みの吉田須美子が活躍する浅見光彦シリーズ番外『須美ちゃんは名探偵!?' シリーズ第6弾。

須美子が日常の中に潜む小さな謎や疑問を、名探偵・浅見光彦に負けない名推理(?)で解き明かす、ほのぼののミステリーです。

今回は浅見光彦の住む街・東京都北区、そして台東区を舞台に、人形に纏わる謎を四編収録しています。

〈あらすじ〉

●「人形の手」

ある日、近所の商店街で花屋を営む小松原育代と浅草を訪れることになり、そこで「人形の手」にまつわる不可思議な話を耳にする。

●「人形の家」

育代の店の前に、段ボール箱が置かれていた。中にはピエロの仮面を首からさげたビスクドールが……。須美子はその人形の持ち主の家を探すことになる。手がかりは三つ並んだ「人形の家」。

●「人形の鍵」

光彦との会話をヒントに、人形の家を探し出した須美子は、そこで出会った女性から衝撃の事実を聞く。さらに、彼女からの相談で、今度は「人形の鍵」にまつわる謎に挑むことになる。

●「人形の心」

目的の鍵を発見した須美子は、持ち主の心を知り、「人形の心」について考えるのだった。

〈登場人物〉

吉田須美子 (よしだ すみこ) …… 浅見家のお手伝い。新潟出身。遠縁にあたる先代ばあやの推薦で、高校を卒業した春から東京・北区にある浅見家に住み込みで働く。感動屋で涙もろい。

浅見光彦 (あさみ みつひこ) …… 言わずと知れた名探偵。本業のルポライターの傍ら様々な難事件を解き明かすが、浅見家においては、いつまでも居候扱いのうだつの上がない次男坊。

小松原育代 (こまつばら いくよ) …… 北区の商店街で生花店「花春」を営む。須美子とは気の置けない間柄で、須美子のことを名探偵だと思い込んでいる。

村中歌子 (むらなか うたこ) …… 北区の商店街で「ポリッシューズ」を営む。育代と仲が良く、面倒見の良い人柄。商店街のとりまとめ役のようなことをしている。